

決定力不足に泣いた 流経大相手に 4 年ぶり黒星

CK のボールをセットする中原

撮影：宮下響

駒澤大学 0-1 流通経済大

4 月 30 日 11:30 龍ヶ崎市陸上競技場たつのこフィールド

駒大 0 (0-1) 1 流経大

得点者 (アシスト)

【前半】

24 分: [流] 本村

KOMAZAWA	TOIN
GK①輪島 稜(4)	GK①オビ バウエルオビナ(2)
DF⑫須藤皓生(3)	DF⑤本村武揚(2)
DF④星キョーファン(2)	DF⑫宮内雄希(4)
DF⑰上田哲也(4)	DF③田中龍志郎(4)
DF②熱川徳政(4)	DF②小池裕太(3)
MF⑱小川礼太(2)	MF⑤守田英正(4)
MF⑳葉真寺孝弥(1)	MF⑥石田和希(4)
(67 分)⑭米田大介(1)	MF⑪渡邊新太(4)
MF⑦大村英哉(4)	(79 分)⑩シャーマイン良(4)
(77 分)⑪安藤 翼(3)	MF⑧森永 卓(4)
MF③中原 輝(3)	MF⑩菊池禎晃(4)
FW⑳川崎貴太(3)	(66 分)⑦新垣貴之(3)
(72 分)⑳荒木直道(4)	FW⑱立花歩夢(4)
FW⑲高橋潤哉(2)	(85 分)吉田大河(4)
S U B	S U B
GK②鈴木悠太(1)	GK②新井栄聡(4)
DF⑤眞砂慶太郎(4)	DF⑬小野原和哉(3)
MF⑩大場淳矢(3)	MF⑥相澤祥太(3)
MF⑨小田駿介(4)	MF⑲渋谷峻二郎(3)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	中野雄二

[シュート] 7:8 [GK] 10:13 [CK] 8:2 [直接FK] 12:14
[間接FK] 1:1 [主審] 田嶋和貴 [観衆] 417 人

警告 (C) / 退場 (S)

【駒】

前 42 分: 高橋潤哉 (C)

滑りやすいピッチに苦戦

関東大学サッカーリーグ戦 1 部・第 2 節は 4 月 30 日、龍ヶ崎市陸上競技場たつのこフィールドで、対流通経済大戦が行われた。滑りやすいコンディションのなか選手間の連携に難を抱え前半 24 分の失点が致命傷となり 0-1 で敗北。GW ウィーク 3 連戦の初戦を飾れなかった。

流経大相手にリーグ戦直近 5 試合負け無しの駒大は中盤ボランチの先発を変。ロングスローが得意な小川礼太と新加入の葉真寺孝弥のフレッシュなコンビとなった。一方、4 年間の雪辱を晴らしたい流経大は先発選手を上級生で固め、試合へ臨んだ。

前日降った雨の影響により濡れたピッチでのプレーを強いられた両チーム。開始直後はお互い得意な形から得点へ向けて“ジャブを打つ”ような静かな展開となった。先に仕掛けたのは流経大。前半 20 分から得意とする細かいパス回しで駒大 DF 陣の組織を切り崩していくと 24 分、ゴール前までボールを持ち込んだ相手 FW が右足でシュートを放つと、DF 星キョーファンが体でクリア。ところがこぼれ球はペナルティエリア外に構えた相手 DF の下へ渡り、そのまま右足で

強烈なミドル。ボールは GK 輪島が構えた逆のサイドのネットに突き刺さった。(試合後 DF 上田哲也はこのシュートを「スーパーなシュート」と形容している)開幕 2 選連続で相手の先制を許す形となった駒大は失点後も不安定なプレーに終始した。全体的に選手間のポジショニングが間延びし、攻守の動き出しがワンテンポ遅れ、相手からペースを掴めない。

後半を迎えても駒大は局面を打開できず、苦しい展開が続く。前線のプレスから速攻を仕掛ける攻撃スタイルは滑りやすいピッチとのマッチングが悪く、前節ではキレのある動きを見せた MF 中原輝や大村英哉といったサイドアタッカーがしばしば転倒するなど、精彩を欠いた。後半 25 分には左 CK からファーサイドに構えた DF 上田が頭で合わせるがボールはバーの上を越えていった。終盤に入りようやくペースを掴み始めると途中出場の安藤翼や高橋潤哉を始めとした攻撃陣が再三相手ゴールへ肉薄するが、クロスタイミングやシュートのコースが合わず、ゴールネットを揺らすには至らず試合終了。流経大相手に 4 年ぶりの辛酸を舐めた。

(柴崎拓見)